

2コリント人への手紙

第3週目

1

弱さ、強さ、神の栄光 (4:1-6)

¹ こういうわけで、私たちは、あわれみを受けてこの務めに任じられているのですから、勇気を失うことなく、² 恥ずべき隠された事を捨て、悪巧みに歩まず、神のことばを曲げず、真理を明らかにし、神の御前で自分自身をすべての人の良心に推薦しています。³ それでもなお私たちの福音におおいが掛かっているとしたら、それは、滅びる人々の場合に、おおいが掛かっているのです。

2

⁴ その場合、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。⁵ 私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣べ伝えます。私たち自身は、イエスのために、あなたがたに仕えるしもべなのです。⁶ 「光が、やみの中から輝き出よ」と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。

解説

告発者たちは中傷を続ける。彼らは、パウロが私欲のために福音を歪曲するような卑怯であざむく方法を用いていると言う。

パウロの応答:

私は自分について宣べ伝えていない。

私はみなが理解できるように簡単に宣べ伝えている。

私はイエス・キリストを主として宣べ伝えている。(「私を見るな。イエスを見なさい。」)

福音を拒む者たちは、自分で選んでこの世の神によって盲目になっている。サタンはカモフラージュが得意だ。

パウロは落胆しない。なぜなら ...

- 神から任命されたから。
- 自分には偉大なる務めが与えられていると意識しているから。
- 神がなしたことを忘れていない/ダマスコへの道での経験。
- 自分を待っている栄光を決して忘れない。

5

私たちの弱さ、神の強さ (4:7-9)

⁷ 私たちは、この宝を、土の器の中に入れていたのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。

⁸ 私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれています、行きづまることはありません。⁹ 迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。

6

- **宝:** 良い知らせの福音。
- **土の器:** 人間の身体は怪我をしたり、病気にかかったり、腐敗し死にゆく、か弱いもの。
- **計り知れない偉大な神の力:** イエスを死者の中からよみがえらせたお方は、私たちの弱さのただ中で、ご自分の力を現わすことの専門家だ・・・だからその力が神からのもので、私たちからでないことを私たちは知っている。

パウロの4つの逆説

弱さ

四方八方から苦しめられる
 途方にくれる
 迫害される (追い回される)
 倒される

強さ

しかし、窮することはない
 しかし、行き詰まることはない
 しかし、見捨てられない
 しかし、滅ぼされない

あなたが祈る時、「しかし、そうではない」ということを思い出してください。

安けさは川のごとく

安けさは川のごとく心ひたすとき
悲しみは波のごとく我が胸 満たすとき
すべて安し 御神 共にませば

個人的で私的な苦しみという静かな炉の中でこそ、最も崇高な夢が生まれ、神の最大の贈り物が与えられる。

「安けさは川のごとく」を見る: [*It is Well with My Soul.*](#)

9

- 自分がどれだけ弱いかを確かに認識した時に、神の偉大さと力を理解できる。
- 人間の弱さは神の目的を妨げるものではない。主の力は私たちの弱さの中に完全に表される。

注記:力について語るわりには、「大使徒」たちは人生の現実について語らない:すなわち苦しみ、悲しみ、痛み、心痛、病気、死、裁き(説明責任)である。

10

終末論的枠組み

この世(今) ... 後の世 (まだ) (4:10-5:10)

- 死といのち (4:10-15)。
- 外なる人は衰える;内なる人は日々新たにされる(4:16)。
- 軽い患難と一時的な問題などは測り知れない、重い永遠の栄光をもたらす(4:17-18)。

死といのち (4:10-15)

¹⁰いつでもイエスの死をこの身に帯びていますが、それは、イエスのいのちが私たちの身において明らかに示されるためです。¹¹ 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるためなのです。¹² こうして、死は私たちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働くのです。¹⁴ それは、主イエスをよみがえらせた方が、私たちをもイエスとともによみがえらせ、あなたがたといっしょに御前に立たせてくださることを知っているからです。

¹⁵ すべてのことはあなたがたのためであり、それは、恵みがますます多くの人々に及んで感謝が満ちあふれ、神の栄光が現れるようになるためです。

一時的な苦しみと永遠の栄光 (4:16-18)

¹⁶ ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。

¹⁷ 今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。

¹⁸ 私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

解説

死といのち。

イエスのいのちが身体的に実際にあらわされる、そして宣教の生活における精神的痛み：

四重の苦悩 (4:8-9 と 6:3-10)。

それゆえ、私たちはキリストの苦しみを分かち合っている。通称「弟子の代価」。死は避けることができない。

しかし、私たちの死は無意味ではない (4:12-15)。

パウロは未来を見据えている。神の復活の力が、ついに私たちを死から救い出すのだ！

注

1コリント人への手紙15章で、パウロは「死んだら肉体はどうなるのか」という問いに、肉体の一般的な復活に焦点を当てることで対処した。

これらの箇所(5:1-10)で、パウロは「もし私たちが復活前に死んだら、どうなるのか」という問いを扱っている。

死と後の世について、聖書の中で最も包括的な記述である。

地上の体、天の体、裁き (5:1-10)

3つのイメージ: 幕屋、建物、衣 (5:1-5)

¹ 私たちの住まいである地上の幕屋がこわれても、神の下さる建物があることを、私たちは知っています。それは、人の手によらない、天にある永遠の家です。

² 私たちはこの幕屋にあってうめき、この天から与えられる住まいを着たいと望んでいます。

³ それを着たなら、私たちは裸の状態になることはないからです。

4 確かにこの幕屋の中にいる間は、私たちは重荷を負って、うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいと思うからでなく、かえって天からの住まいを着たいからです。そのことによって、死ぬべきものがいのちにのまれてしまうためにです。5 私たちをこのことになう者としてくださった方は神です。神は、その保証として御霊を下さいました。

解説

- 私たちの住まいである幕屋。
- 人の手で作った家ではない建物(5:1)。私たちの復活の体。
- 着る、脱ぐ、着せられる (5:2-4)。
死ぬべきものがいのちにのまれる。
- しかし、もし復活前に死んだらどうなるのか？
私たちのこの地上の体は、滅び、私たちは復活の体を待つ。
私たちは復活まで「眠っている」状態なのか？
- 神は、保証された未来の保証金として聖霊を与えることによって、私たちを天国に備えておられる (5:5)。

地上の体、天の体、裁き (5:1-10)(続き)

⁶ そういうわけで、私たちはいつも心強いのです。ただし、私たちが肉体にいる間は、主から離れているということも知っています。⁷ 確かに、私たちは見るところによってではなく、信仰によって歩んでいます。

⁸ 私たちはいつも心強いのです。そして、むしろ肉体を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っています。⁹ そういうわけで、肉体の中であろうと、肉体を離れていようと、私たちの念願とするところは、主に喜ばれることです。¹⁰ なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現れて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。

19

解説

- 肉体がこの地上にある。主から離れている。
肉体が離れている。主のみもとにいる (5:6)。
- 肉体を離れている、主のみもとにいる。
- 神は、保証金として聖霊を与えることによって、私たちを天国に備えておられる。
- 肉体を持っている間、主を喜ばせるために生きる(5:9)。
信仰によって生きるのであって目に見えるところによって生きるのではない。(5:7)。
- なぜなら、私たちは裁きの日に、主の前に立ち、説明責任を果たさなければならない。(5:10)。

20

裁き

なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現れて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです (5:10)。

さばきの座と大いなる白い御座の裁きから参照

- すべての信者
- さばきではなく、報い
- 救いまたは罪についてではない
- イエスのために何をしたかである(良いこと悪いこと)

和解の務め (5:11-6:2)

¹¹ こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知っているの
で、人々を説得しようとするのです...

¹⁴ というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるから
です。私たちはこう考えました。ひとりの人がすべての人のため
に死んだ以上、すべての人が死んだのです。

¹⁵ また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生き
ている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために
死んでよみがえった方のために生きるためなのです...

17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

18 これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。

19 すなわち、神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです

23

20 こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです…²¹ 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。

¹ 私たちは神とともに働く者として、あなたがたに懇願します。神の恵みをむだに受けないようにしてください。² 神は言われます。

「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」

確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。

24

解説

イエスに従う者として、私たちは皆、和解のメッセージを伝える責任がある。

キリストの愛が私たちを突き動かすので (5:14) ...

福音のメッセージは真実だと確信している ...

「また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。...」(5:14-15)

ですから、だれでも「キリストの内に」ある人は、新しく造られたもの(創造)で、「神と和解した」(5:17)。

「キリストの内にある」者はだれでも(和解した者)は和解の務めが与えられている (5:19)。

ですから、私たちはキリストの大使 (5:20)。

だから、神の恵みを受けてから何もしないでいてはいけない。今こそ救いの日。仕事に取り掛かりなさい！ (6:1-2)

変革、神の指示、神の命令。

大宣教命令。

大いなる戒め。

あなたの信仰を共有する。

神は私に何を望んでいるだろうか？

「主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。」(ミカ6:8)

聖霊の力。

ウィリアム・ブースからラドヤード・キップリング:

「もし私が、キリストのために、両手をついて立ち、足でタンバリンを叩くことによって、ひとりでも多くのたましいを勝ち取ることができると思うなら、私はそれを学ぶだろう」。

和解の務め (6:3-10)

³私たちは、この務めがそしられないために、どんなことにも人につまづきを与えないようにと、⁴ あらゆることにおいて、自分を神のしもべとして推薦しているのです。すなわち非常な忍耐と、悩みと、苦しみと、嘆きの中で、⁵ また、むち打たれるときにも、入獄にも、暴動にも、労役にも、徹夜にも、断食にも、⁶ また、純潔と知識と、寛容と親切と、聖霊と偽りのない愛と、

⁷ 真理のことばと神の力により、また、左右の手に持っている義の武器により、⁸ また、ほめられたり、そしられたり、悪評を受けたり、好評を博したりすることによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えても、真実であり、⁹ 人に知られないようでも、よく知られ、死にそうでも、見よ、生きており、罰せられているようであっても、殺されず、¹⁰ 悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています。

解説

ミニストリーはプライドでも、利己的なことでもない。
犠牲と奉仕が福音の中心。

- **苦難**: トラブル、争い、苦悩、心配、眠れぬ夜、いのちの痛み、労苦。
- **質**: 純粹さ、忍耐、親切、愛。
- **神が整える**: 真理、聖霊、神の力、義の武器。

死ぬことしかし生きている; 悲しみ、しかし、喜んでいる; 貧しい、しかし富んでいる。

キリストのかたちにより変えられていく

着る/脱ぐ

ローマ 13:11-14	暗闇/光
エペソ 4:20-32	古い自分/新しい自分
コロサイ 3:1-17	古い自分/新しい自分
ガラテヤ 5:19-25	肉の内/御霊の内

ローマ 13:11-14 闇/光

闇のわざを脱ぎ捨てる

- 遊興
- 泥酔
- 淫乱
- 好色
- 争い
- 妬み

光の武具を着る

- 主イエス・キリスト

33

エペソ 4:20-32 古い自分/新しい自分

古い自分を脱ぎ捨てる

- 偽り (25節)
- 罪深い怒り (26節)
- 盗み (28節)
- 悪いことば (29節)

捨て去る

- 無慈悲、憤り、怒り、怒号、
ののしり、悪意 (31節)

新しい自分を着る

- 真実 (25節)
- 自制心 (27節)
- 正直な仕事、分け与える (28
節)
- 役に立つことば (29節)

このようになる

- 親切、優しい心、赦し合う
(32節)

34

コロサイ 3:1-17 古い自分/新しい自分

古い自分を脱ぎ捨てる (古い性質の悪)

- 淫らな行い、汚れ
- 情欲、悪い欲(5節)
- 怒り、憤り
- 悪意
- ののしり、恥ずべきことば(8節)
- 偽り(9節)

新しい人を着る(美德) キリスト のかたちに従って新しくされる

- 深い慈愛の心、親切
- 謙遜、柔和
- 寛容(12節)
- 互いに忍耐し合う、赦し合う(13節)
- 愛(14節)
- あなたがたの中に違いはない(11節)

35

ガラテヤ 5:19-25 肉にある/御霊の内にある

肉にある

御霊の内にある/御霊の実

- 愛
- 喜び
- 平安
- 寛容
- 親切
- 善意
- 誠実
- 柔和
- 自制

36